

今週の感染症発生動向

◆ インフルエンザ、インフルエンザ(入院)は増加傾向

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第1週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 3名** (平成23年第51週分 1名を含む)
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---**アメーバ赤痢 1名** (病型:腸管アメーバ症、年齢:20歳代)

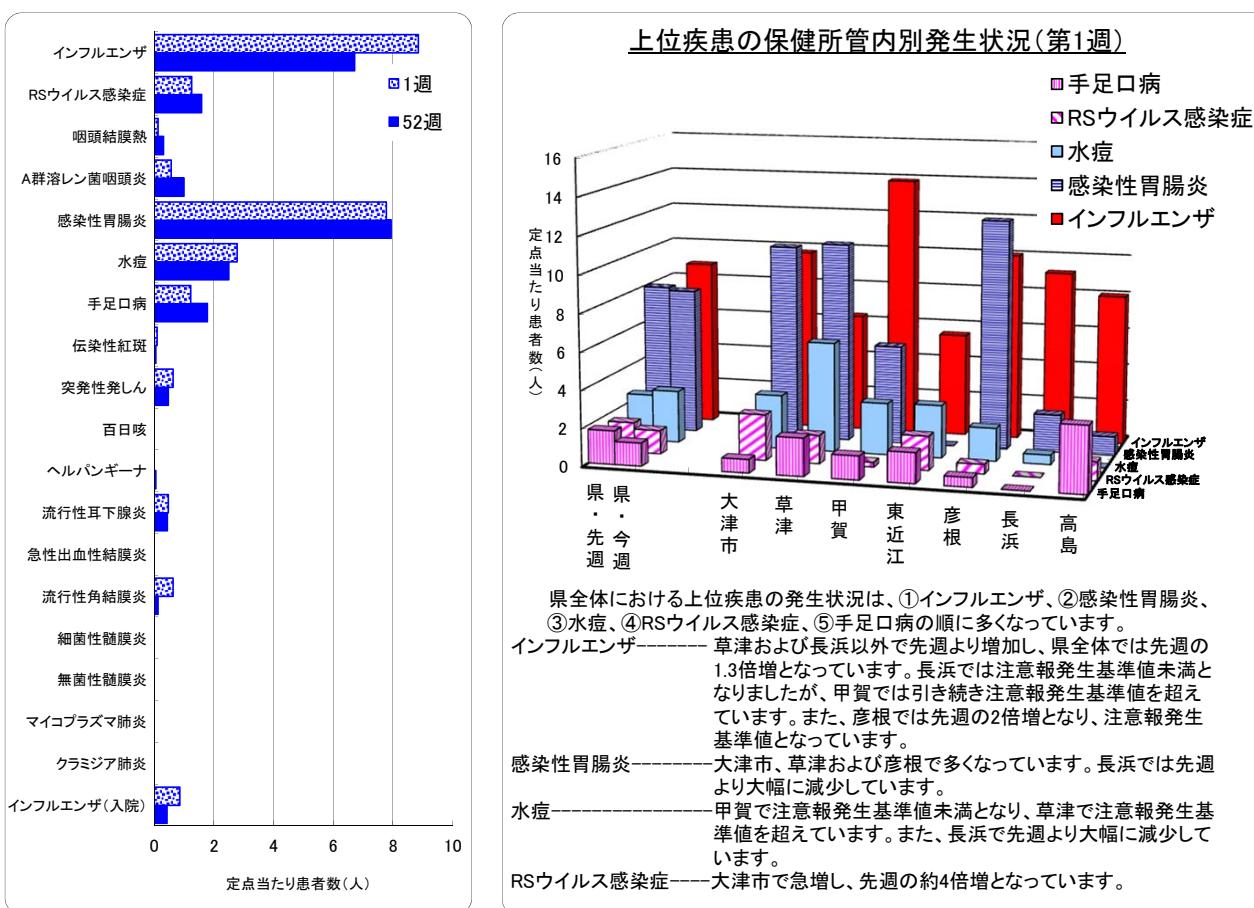
★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(877名)より増加し、今週は957名となっています。インフルエンザで大幅に増加しています。今週、増加した疾患はインフルエンザ、水痘、流行性角結膜炎、インフルエンザ(入院)等で、減少した疾患はRSウイルス感染症、A群溶レン菌咽頭炎、手足口病等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザ入院サーベイランスでは、インフルエンザの入院患者6名の届出がありました。保健所管内別では、草津1名、甲賀1名、長浜2名および高島2名です。また、年齢別では、11ヶ月、1歳、4歳、33歳、57歳および70歳となっています。インフルエンザ(入院)の発生状況については、(3)今週の発生状況に示すとおりです。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警報---手足口病	(警報開始基準値 5.00、警報終息基準値 2.00)	草津保健所管内
注意報---インフルエンザ	(注意報発生基準値 10.00)	甲賀および彦根保健所管内
水痘	(注意報発生基準値 4.00)	草津保健所管内



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成24年累積報告数		平成23年累積報告数 ^(*1)		平成22年累積報告数 ^(*2)	
		滋賀(1週)	全国 ^(*3) (平成23年第52週)	滋賀	全国 ^(*3)	滋賀	全国 ^(*3)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	2	30,810	333	30,810	251	26,704
三類感染症	コレラ	0	12	0	12	0	10
	細菌性赤痢	0	296	5	296	2	235
	腸管出血性大腸菌感染症	0	3,900	71	3,900	66	4,131
	パラチフス	0	22	0	22	1	21
四類感染症	E型肝炎	0	54	0	54	0	66
	A型肝炎	0	176	0	176	3	346
	オウム病	0	13	0	13	1	11
	つつが虫病	0	438	1	438	2	406
	デンク熱	0	104	1	104	2	245
	マラリア	0	76	0	76	0	76
	レジオネラ症	0	804	12	804	10	751
五類感染症	アメーバ赤痢	1	803	2	803	7	845
	ウイルス性肝炎	0	241	1	241	3	222
	急性脳炎	0	249	1	249	0	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	130	2	130	2	171
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	192	2	192	3	127
	後天性免疫不全症候群	0	1,478	6	1,478	1	1,549
	ジアルジア症	0	67	1	67	1	80
	梅毒	0	817	6	817	9	621
	破傷風	0	111	1	111	0	106
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	68	0	68	2	121
	風しん	0	369	2	369	5	89
	麻しん	0	434	1	434	1	455
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	37	9	37	0	59

注：1週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

* 1: 感染症発生動向調査における暫定報告数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年12月現在)。

* 2: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在)。

* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。

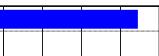
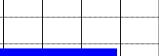
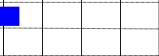
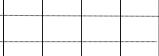
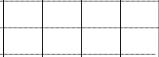
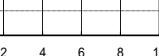
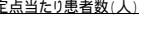
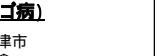
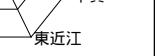
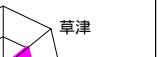
(患者報告数=定点当たり患者数×定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成23年第48週～平成24年第1週、H23.11.28～H24.1.8)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(↑前週より増加　→前週と同じ　↓前週より減少)										
			48週	49週	50週	51週	52週	1週	週				
			11/28～	12/2～	12/12～	12/19～	12/26～	1/2～	49	50	51	52	1
小児科	53	インフルエンザ	0.92	1.17	2.94	5.66	6.72	8.85	↑	↑	↑	↑	↑
		RSウイルス感染症	1.66	1.69	1.75	1.63	1.59	1.25	↑	↑	↓	↓	↓
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.28	0.19	0.63	0.53	0.31	0.13	↓	↑	↓	↓	↓
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.38	1.50	1.69	1.84	1.00	0.56	↑	↑	↑	↓	↓
		感染性胃腸炎	4.03	5.25	6.28	8.91	7.94	7.78	↑	↑	↑	↓	↓
		水痘	1.38	1.50	2.47	2.44	2.50	2.78	↑	↑	↓	↑	↑
		手足口病	2.25	3.19	3.34	2.22	1.78	1.22	↑	↑	↓	↓	↓
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.16	0.03	0.06	0.16	0.06	0.09	↓	↑	↑	↓	↑
		突発性発しん	0.72	0.66	0.69	0.50	0.47	0.63	↓	↑	↓	↓	↑
		百日咳	0.03	0	0	0	0	0	↓	→	→	→	→
眼科	8	ヘルパンギーナ	0.13	0.13	0.09	0.03	0.06	0	→	↓	↓	↑	↓
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.50	0.69	0.53	0.88	0.44	0.47	↑	↓	↑	↓	↑
基幹	7	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		流行性角結膜炎	0.38	0.13	0.13	0.25	0.13	0.63	↓	→	↑	↓	↑
	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		マイコプラズマ肺炎	0.71	0.71	0.14	0.86	0	0	→	↓	↑	↓	→
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0.14	0	0	0	0	↑	↓	→	→	→
		インフルエンザ(入院)*	0	0	0	0.29	0.43	0.86	→	→	↑	↑	↑

* : 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第1週、1/2~1/8)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	8.85	9.73	6.30	13.86	5.50	10.00	9.14	8.00	
RSウイルス感染症	1.25	2.43	1.50	0.25	1.80	0.50	0	1.00	
咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.13	0	0.50	0	0	0.25	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.14	1.17	1.00	0.20	0.25	0.50	1.00	
感染性胃腸炎	7.78	10.43	10.67	5.25	6.40	12.25	2.00	1.00	
水痘	2.78	2.86	5.83	2.75	2.80	1.75	0.50	0	
手足口病	1.22	0.71	2.00	1.25	1.60	0.50	0	3.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0	0.17	0	0.40	0	0	0	
突発性発しん	0.63	1.29	0.83	0	1.20	0	0	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.47	0.43	0	0	1.80	0.75	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.63	1.50	0	0	0	0	1.00	1.00	
細菌性膿膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性膿膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	0.86	0	1.00	1.00	0	0	2.00	2.00	

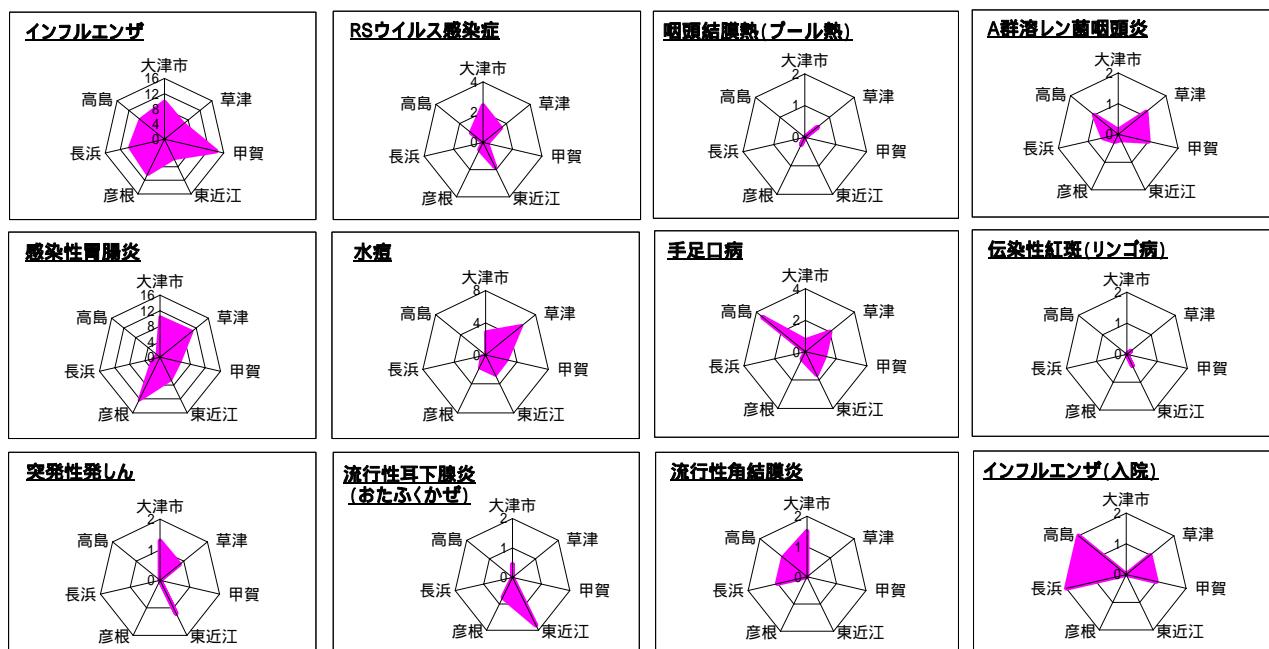
赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えていました。

青緑・太字 は注意報発生基準値を超えていました。

定点当たり患者数(人)

0 2 4 6 8 10

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



<咽頭結膜熱(ブルー熱)>

高島保健所管内では、警報終息基準値(1.00)未満となっています。

(3) 今週の発生状況

<手足口病>

草津保健所管内では先週より減少していますが、警報終息基準値(2.00)となっています。また、高島保健所管内では先週よりさらに増加し、定点当たり患者数は3.50と多くなっています。

<流行性角結膜炎> 大津市保健所管内でやや多くなっています。

インフルエンザ入院サーベイランスにおける患者発生状況(平成23年第36~平成24年第1週、H23.9.5~H24.1.8)

期間	9月		10月		11月		12月		1月		計 ^{*1}
	第36~39週 (9/5~10/2)	全国	第40~43週 (10/3~10/30)	全国	第44~47週 (10/31~11/27)	全国	第48~52週 (11/28~1/1)	全国	滋賀県	全国 ^{*2}	
入院患者数 ^{*1}	13	0	27	0	63	1	374	5	6	477	12
1歳未満	1	0	1	0	5	0	22	0	1	29	1
1~4歳	0	0	8	0	20	1	98	1	2	126	4
5~9歳	3	0	9	0	8	0	63	0	0	83	0
10~14歳	1	0	1	0	4	0	17	0	0	23	0
15~19歳	2	0	0	0	0	0	5	1	0	7	1
20~29歳	0	0	0	0	3	0	6	0	0	9	0
30~39歳	2	0	1	0	0	0	12	0	1	15	1
40~49歳	0	0	2	0	0	0	4	0	0	6	0
50~59歳	0	0	0	0	1	0	8	0	1	9	1
60~69歳	0	0	0	0	2	0	12	0	0	14	0
70~79歳	2	0	5	0	9	0	51	1	1	67	2
80歳以上	2	0	0	0	11	0	76	2	0	89	2

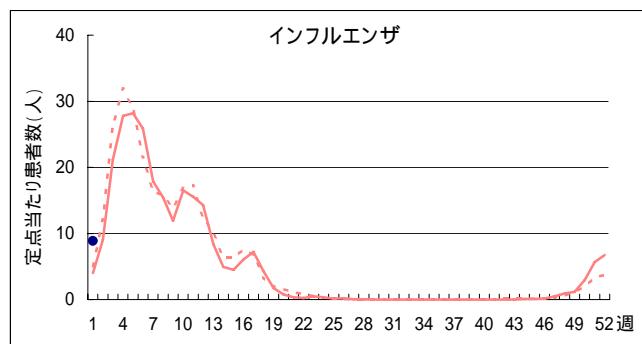
*1:基幹定点医療機関(465か所)からのインフルエンザによる入院患者の届出数

*2:第36~52週の累積届出数

(人)

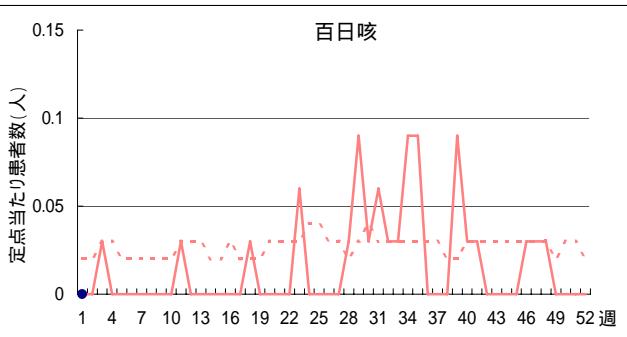
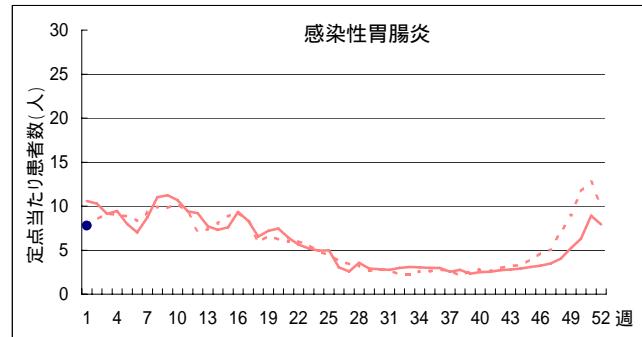
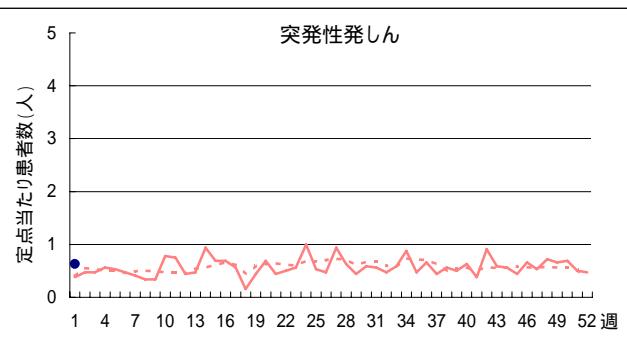
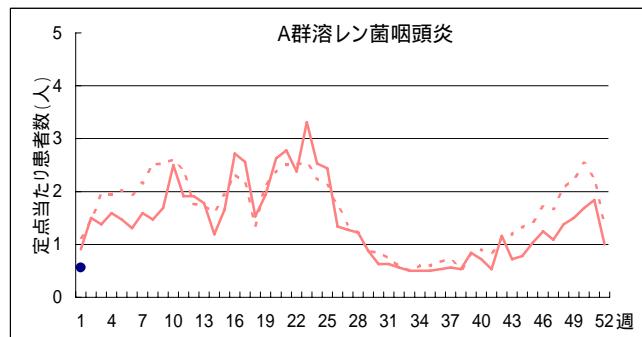
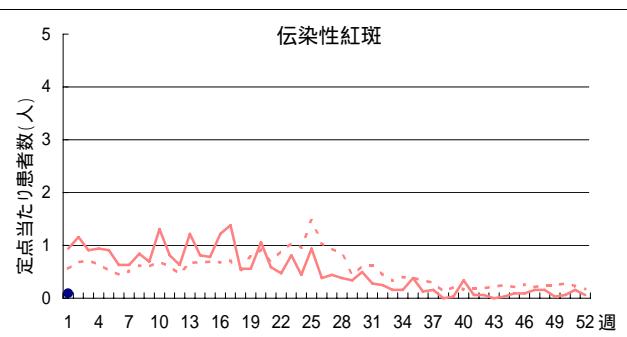
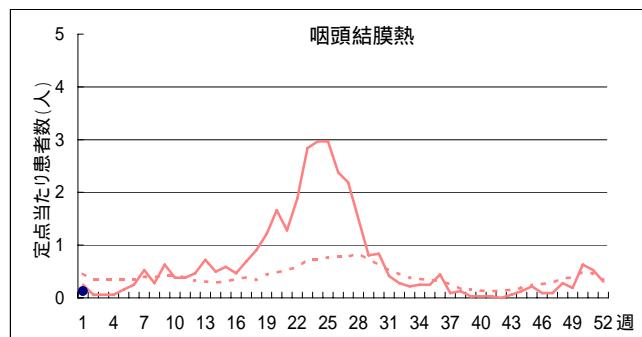
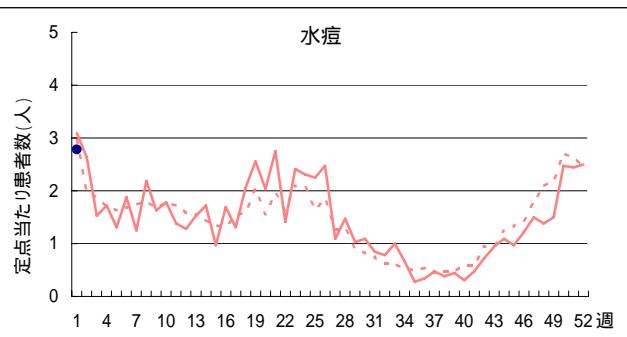
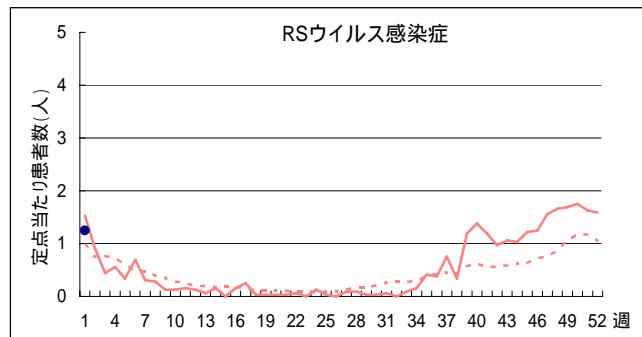
トップページに戻る

疾病別定点当たり患者数(平成24年第1週、H24.1.2～H24.1.8)



* 平成24年1週の滋賀県データは、として表示しています。

H23 滋賀
H24 滋賀
全国
全国



疾病別定点当たり患者数
(平成24年第1週、H24.1.2～H24.1.8)

H23
滋賀
全国
H24
滋賀
全国

* 平成24年1週の滋賀県データは、
として表示しています。

